船坂新聞

ホームページ　http://funasakashinbun.news.coocan.jp/

２０１０.０２.１３　第２９号　発行：船坂新聞倶楽部

問い合わせメールアドレス　funasaka.moriagetai@gmail.com

旧船坂小ランチルームを地域コミュニティーセンターに！

２月２０日（日）旧船坂小活用案説明会にご参加を

西宮市と自治会との間で旧船坂小活用案について協議を進めてこられましたが、このほど中間報告がまとまり、船坂住民集会で西宮市から報告されることとなりました。

中間報告では、ランチルームを船坂の誰もが使えるコミュニティーセンターとするなど、本年４月以降の暫定使用方法がまとめられました。管理人など管理方法をどうするのか、誰がいつどうすれば使えるのか等、詳しい説明が行われる予定です。

船坂住民対象の説明会です。皆さん多数ご参加ください。

日　時　　２月２０日（日）午後１時３０分～３時３０分
場　所　　旧船坂小ランチルーム
説明項目　①施設活用案と残された課題について
　　②県民交流広場事業について
　　③船坂の用途地域規制について

船坂活性化へのヒント！

３月１３日（日）まちづくり講演会

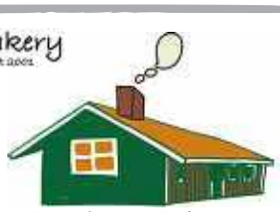
長野で手作りのまちづくりに取り組んでおられる講師を招いて、講演会が開催されます。
船坂のまちづくりのヒントをわかりやすく、元気の出るお話を聞かせて頂けます。
どなたでも参加できます。たくさんの参加をお待ちしています。

画像削除

講　演　「みんなで考える船坂のまちづくり」
講　師　傘木　宏夫（かさぎ　ひろお）氏
　　(昭和３５年生まれ、NPO地域づくり工房代表理事、
　　長野大学非常勤講師)
日　時　３月１３日（日）午後１時３０分～３時３０分
場　所　旧船坂小学校ランチルーム
主　催　西宮市・船坂自治会

古材問屋
株式会社　古材問屋
651-1423　兵庫県西宮市山口町船坂280
Tel:078-903-5314 Fax:078-903-5319
http://www.kozaidonya.com

Daddys Bakery


〒651-1423西宮市山口町船坂90
TEL：078-907-3920

株式会社加登
〒651-1423　西宮市山口町船坂710-4
TEL:078(904)3843 FAX:078(904)0169
http://www.forever-kato.co.jp

Copyrights 2008-2011 funasaka-sinbun-kurabu. All Rights Reserved.

９班には手づくり集会所がありますよ

船坂自治会の９班は、船坂の中で最も北側に位置し、赤色の「田尻橋」周辺の通称「下田」と呼ばれる地域の人達で構成されています。その９班に手づくり集会所があると聞いて取材に行ってみました。

集会所の中で、宮里 清（隣保長）さんと前原 勇（前隣保長）さんにインタビューしました。

――すごく立派な集会所ですね！いつ頃できたのですか？

●平成１２年９月に竣工祝いを皆で盛大にやってから１０年経ったけどな。

――きれいに使ってますね。こんな立派なものをどのようにして造られたんですか？

●前は古いコンテナ１個の中でやっとったんやけど、誰言い出すとも無く「もっと広いもん造ろうや」ということになって、皆でボランティアして造ったんや。古いコンテナ３個と窓のサッシを班の者のツテで安う買うてきて、あとは土建、大工、屋根職、ペンキ屋とみんな班の者が力を合せて造ったんや。

――へ～え！９班はすごくまとまってるんですね。流し台、水屋、冷蔵庫などもありますが・・・。

●これらも皆、班のもんの寄付や。

――すごい！広さはどれくらいなんですか？

●コンテナを３つ横に繋ぎ合わせて造ったんで、２５畳ぐらいあるかね。ここで、班の総会、道作り、新年会、忘年会、秋祭りの天ぷら作りなんかをするんや。

――隣にウォッシュレット付きのＷＣもありますね。

●あれも３年ほど前に、皆で建てたんや。

――ところで９班って何世帯くらいあるんですか？

●集会所が出来た頃は２７世帯あったんやけど、今は２０世帯に減ってしもた。若い者が他所に家を建てて出て行ってしまうんで、今は年寄りばっかりや。先行きが心配や。それに５０代の男が早死にしたんで、男が世帯主の世帯が２０世帯の内１０世帯だけになってしもうてな。

――９班に子どもさんは何人くらいおられるんですか？

●小学生が２人、中学生はゼロや。世帯主の男の最年少が６０歳という高齢者の班やねん。

――え～～！それは心配ですね。でも、以前は活気があったんでしょう？

●わし等が若い頃にここだけの盆踊りが始まったんやけど、それは４０年も続いとるんやで。今年も８月１４日にやるんで、皆さん来とくなはれ。

それと、昭和６０年頃までは、ここもパセリが盛んやったんや。畑も広かったで。ここで作ったパセリは、大阪の問屋に直接売っとったんやけど、昔は、朝２～３時頃出発して天秤棒で担いで生瀬駅まで運んで、そこから国鉄に乗って大阪まで運んでたんや。しんどい仕事やったけど、高値で売れたんで皆よう頑張ったもんや。それも高速自動車道が整備されて、信州などから安いパセリが入ってくるようになってすたれてしもうた。船坂の出荷場に運び込まれていたパセリと同じ運命や。

――そうだったんですか！これからも大変ですね。

●そやねん。外へ出て行った若いもんに帰ってきてほしいと思うとるんやけどな・・・。どないやろな？

（取材：黒木・池田）

２月のコンサート予定

片岡りさ「琴演奏会」
2/27(日) 17:30　3000円

Tel:078-903-1172

PENNY LANE

ガレージ＆カフェ ペニーレーン
〒651-1423 西宮市山口町船坂字北谷206
TEL (078) 904-0617 FAX (078) 907-2340
http://www.penny-lane.jp/

41
CUE CORPORATION

株式会社 キューコーポレーション
〒665-0051 宝塚市高司1-1-16ホワイトプラザ2F
TEL: 0797-73-0041 MOBILE: 090-3999-0041
FAX: 0797-73-4100 E-mail:cue41@nifty.com
代表取締役 植松 稔晶

出展希望者は２月２７日（日）に集まってください！

船坂の作家作品常設展

ビエンナーレのとき、ＪＡふれあい会館に沢山の船坂作家の作品が展示されました。２年に１回の作品展では勿体ないと、このたび有志が発起人となりＪＡふれあい会館を使って「常設展」をやろうということになりました。
１月３１日の発起人会で、次のようなことを決めました。
○設立会を２月２７日（日）午後１時３０分からＪＡふれあい会館で行い、会の名称、運営方法などを決める。出展してみようと思われる方は、ふるってお集まりください。
○常設展は、個展・グループ展などを織り交ぜながら、１～２ヶ月単位で作品を入れ替える。
○開館時間は平日の９時～１５時とし、鑑賞はＪＡバンクから出入りしてもらう。
（発起人：坂田芳郎、中西博子、宮本和子、中尾祐次郎、JA所長、池田壱和）

老人クラブ新年会

恒例の老人クラブ新年会が、１月１７日（月）の昼、船坂公会堂大広間で盛大に行われました。
沢山の参加者が和気あいあいと昼食時に歓談し、その後、恒例のビンゴ大会に歓声を上げました。
また、北福宏行さん、永田秀方さん、野口若子さん、足立博さん（４名）の新入会が報告されました。

画像削除

船坂陶芸クラブ会員募集!!

ビエンナーレ推進委員として活躍された糀釜の長瀬真弓さんが、仮称船坂陶芸クラブを作りませんかと呼びかけておられます。すでに何人かが会員になりたいと希望されています。
会員希望者は、次の日時に集まってください。

○と　き　３月２２日（火）午前１０時～１０時３０分
○ところ　旧船坂小学校ランチルーム
○実　費　体験でお湯のみなどを１個作りますので、
粘土代１０００円持参でご参加ください。
（連絡先：長瀬真弓　電話０９０－１４８９－４５８７）

知る人ぞ知る隠れ家レストラン
Alice
癒しの森のガーデンカフェレストランＡｌｉｃｅ
〒651-1423　西宮市山口町船坂１６２６
ＴＥＬ０７８（９０４）２６０３
バースデーケーキをお宅までお届けします。
（山口町内　無料配達いたします。）

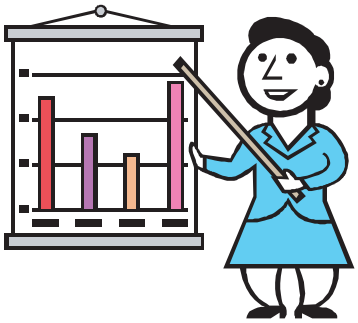
創業昭和八年
北福畳店
西宮市山口町船坂702
TEL　０７８-９０４-２６６０

FUNASAKA
西洋料理/船坂
西宮市山口町船坂字北谷２１６番地
Tel/FaxＯ７８-９０３-１１５８

＜芸術祭推進委員会より＞
１月２９日（土）の夜、第８回芸術祭推進委員会が開催され、中間決算報告、アンケート結果報告などの議題について話し合われました。
その中から、アンケート結果などについてお知らせします。

住民アンケートにご協力ありがとうございました

１月８日から１６日の間実施しました船坂住民アンケートにご協力いただきありがとうございました。
９１世帯２２２人から回答がありました。その結果は以下のとおりです。
「わからない」と答えた人が４０％程度おられましたが、これは「ビエンナーレは船坂活性化のきっかけをつくるだけ。活性化の事業は自治会、農会など地域団体主体で。」との趣旨がまだ十分理解されていないためと思われます。
「わからない」と答えた人を除くと、大多数の住民の皆さんはビエンナーレに賛成しておられ、活性化のきっかけになっているとの理解もいただきました。一方、わずかな人数ですが賛成できないという人もおられます。今後の課題として解決の道を探る必要があります。
また、３８項目もの貴重な意見記述をいただきありがとうございました。紙面の都合でご紹介できませんが、今後の参考にさせていただきます。
以下、「わからない」を除く回答者数・回答率を記載しました。



- ○ 作品を鑑賞した人は、回答者の６２％
- ○ ビエンナーレに「賛成」が１４４人（７４％）で、「賛成できない」の９人（５％）を大きく上回りました。
- ○ 賛成できない理由
  - ・多くの人が来るのは迷惑４人　・マナーが悪い３人
  - ・畑近くを歩くのは困る３人　・現代美術が理解できない１人
  - ・外部に頼るな１人　・畑作業は見世物ではない１人
- ○ 来場者数は「適当」が７１人（３７％）で、「多すぎる」９人（５％）、「少ない」１７人（９％）を上回りました。
- ○ 活性化の「きっかけになっている」が９２人（４７％）で、なってない１２人（６％）を上回りました。
- ○ 今年も何かした方が良いかについては、「した方がいい」「何もしなくていい」が各々５５人（３０％）ずつで、意見が分かれました。
- ○ 来年のビエンナーレについては、「開催するべき」が１１０人（５６％）で、しなくていい１０人（５％）を大きく上回りました。

作家さんと来場者アンケートの結果

作家アンケートと来場者アンケートについても集約しました。その結果は次のとおりです。
【作家アンケート】

- ○「参加作家数」「作品数」「来場者数」「イベント数」について、ほとんどの作家さんは適当と答えられましたが、少数意見ですが多すぎると答えた作家さんもおられました。
- ○「作品制作費」「交通費」については、多くの作家さんが「出してほしい」「交通費をもっと出してほしい」と希望されています。
- ○ 宿泊所については、多くの作家さんが「男女別の部屋を」「寝具の用意を」と希望されています。
- ○ 食事については、６割の作家さんは「自炊でいい」と答えておられますが、４割の作家さんは「費用負担してもいいので食事の提供を」と希望されています。

【来場者アンケート】

- 年代別では、６０代がやや多いものの、２０代、３０代、４０代、５０代と平均して来場されていたことが判りました。
- 来場者の９割は、京都・滋賀・奈良を含む近畿地方から来られました。その内、阪神間では西宮だけでなく宝塚・芦屋・尼崎・神戸からも多数来られており、県内では姫路・加古川方面からの来場者も結構おられました。また、遠くの北海道、関東、東海、四国からも来場していただいていました。
- 職業別では、会社員公務員が３割と最も多く、次いで無職、パート、家事、自営、学生と続きます。
- 情報入手方法としては、チラシで知った人が最も多く、次いで口コミ、新聞、インターネットが多くみられました。
- 作品数については、「ちょうどよい」が多く、僅かの差で「多すぎる」という意見もありました。
- 全体の構成については、９割以上の人が「良い」と答えられました。
- 作品の内容についても、９割を超える人が「楽しめた」と答えられました。
- スタッフの対応については、９９％の人が「大変良い」「良い」と答えて頂きました。
- 次回も来場されますかとの問いにも、９９％の人が「必ず」「機会があれば」来場したいと答えられました。

２０１１年土と炎の祭典を提案

推進委員会の席上、藤井総合ディレクターから「仮称・土と炎の祭典を今年の夏or秋に開いたらどうか」と提案がありました。

提案の概略は次のとおりです。

時　期　今年の夏～初秋の船坂夏野菜収穫期（土日に開催）
場　所　旧船坂小学校校舎内
企　画　岡田安紀子さん（陶芸家、推進委員）を中心に、
今後企画を煮詰めていく。
展示する作品は、陶芸など土に関わる美術作品など。

具体的な企画内容は、今後、岡田さんを中心に原案作りが進められる予定です。具体的な原案が出来たあと、推進委員会での対応を協議することとなりました。

県立芸術文化センター管弦楽団の演奏会（予定）

兵庫県立芸術文化センターから金管楽器（トランペット２、トロンボーン、ホルン、チューバ）演奏者５人が、小さな音楽会in船坂の演奏会に来ていただけることになりました。
演奏会は、４月２４日（日）午後３時から旧船坂小体育館で行います。
詳細は企画委員会で検討し、改めて船坂新聞でお知らせします。
乞うご期待！

西宮阪急で２月１６日（水）～３月１日（火）の２週間

「里山アートがやってくる！」が開催されます

船坂ビエンナーレにもご協力いただいた西宮阪急主催により、２週間にわたり「里山アートがやってくる！」が開催されます。「里山アートがやってくる！」では、船坂ビエンナーレ参加アーティストたちが里山の風とともに西宮阪急に再度集結し、消費空間を新たな視点で捉えようとするアート・プロジェクトです。

参加作家の一人である古巻さんは、「里山アートがやってくる！」のために、TeNさんの歌う唱歌「ふるさと」が流れる中、船坂の風景と人々の映像で船坂を紹介する作品を創られました。

この作品には、坂本定夫、野口品子、北福敬三、上中道子、塩貝聖子親子の皆さんが登場されます。

なお４月頃にも、桜にちなんで、船坂産物紹介もしていただける予定です。

西宮阪急の協力は、船坂にとってとても心強いものがあります。

みなさん、この機会に、西宮阪急（西宮北口駅前「阪急西宮ガーデンズ」）に出かけてみませんか。

編集部だより

★ 山崎ウト様より寄付を頂きました。ありがとうございました。

★ 西宮市を紹介する冊子「西宮グラフ」の特集市民力のページにビエンナーレと共に船坂新聞が紹介されました。

★編集委員としてご活躍いただいた小林ひとみさんが休部、成瀬嘉考さんが辞任され、編集委員に減員が生じました。毎月第３日曜日午後の編集委員会に出席して、船坂の情報集め等を手伝っていただけるボランティアを探しています。パソコンも上達しますよ。楽しく新聞編集しませんか。

calender（2/13～3/13）

2/13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	3/1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日
自治会定例会 野球部新年会			老人クラブ定例会	里山アートin西宮阪急			学校跡検討住民説明会 新聞編集委員会			たんぽぽ読み聞かせ				たんぽぽ図書室開放 ベルグコンサート					老人クラブ定例会									自治会定例会 まちづくり講演会

船坂のサークル活動

バレーボール
水 19：30

テニス
土日 9：00
水 9：30
クォーターテニス
2・4土 19:30

グランドゴルフ
水・金 13:30

ヨガ
月 10：00
火 19：30

ゴルフ
年3～4回

編集後記

特別に寒い今冬は立春を過ぎても立ち去らず、寒さが苦手な私にはキツイ仕打ちを受けている気分です。意を決して、1月末の今冬最も寒かった朝、”川上の滝”に行ってきました。
普段の生活では見る事がなくなった”つらら”を見に行ったのですが、子どもの頃の方がもっと大きかったような.....。
今、寒いといっても、子どもの頃はモット寒かったのかも。（平井 雅博）

この冬は本当に寒いですね・・。
子供は雪に楽しんでいましたが，我が家では水道管の破裂が発生（涙）篠山出身の私ですが初めての経験で船坂の寒さに驚きました。でも，何だか心配になる様な暖冬より春待ち遠しい厳冬の方が冬らしいなぁ～と思うのは日中暖かい職場にいるからかはたまた重量増のせいでしょうか(塩貝 聖子)

Kawahara Kobo
株式会社河原工房
〒569-0823 大阪府高槻市芝生町3-2-1
TEL 072-677-4586 Fax 072-677-4587
URL http://www.omoiokatachini.jp
e-mail info@omoiokatachini.jp

Kobako Vege
こばこベジ
〒662-0978 西宮市産所町3-24
OKKO陶芸工房2F
TEL&FAX 0798-26-3618
e-mail kobako.design831@gmail.com

セブン-イレブン
西宮船坂店
〒651-1423 西宮市山口町船坂419
電話 078(903)1090